



市長と市議会議員が
このまちの未来像を語ります！

◎山陽小野田市 まちづくりカンファレンス

市長と市議会は、議場での論戦から、よく対立した関係といわれます。もちろん予算編成や政策決定、いろいろな事業を実施するにあたっては、それぞれの立場で十分な議論をするわけですから考え方や意見が異なることも当然あります。しかし、「山陽小野田市をより良いまちにしていこう」という方向性は同じです。

今回、公式の場である議場から外に飛び出し、立場の異なる双方が、まちづくりに抱く率直な思いや考えを語り合う場を持ち、それを広く一般に公開することとしました。

多くの市民のみなさんのご来場をお待ちしています。

山陽小野田市 まちづくりカンファレンス

◎とき 12月21日(金)

18:00～19:30

◎ところ 商工センター 3階講堂

◎出席者

●市議会 尾山 信義(議長)
各会派代表

●執行部 白井 博文(市長)
市長部局部長

◎コーディネーター

吉永 美子(副議長)
山縣 始(副市長)



〈問い合わせ先〉議会事務局 (☎ 82・1182) 総務課 (☎ 82・1121)



水道管の凍結対策をしましょう！

気温がマイナス4度以下(風当たりの強いところは、マイナス1～2度以下)になると水道管が凍結し、水が出なくなったり破損したりするおそれがあります。水道管や給湯機器等を点検し、十分な凍結対策をしておきましょう。

◎凍結しやすい場所

- 風当たりの強い屋外にある水道管
- 北側や日陰にある水道管
- むき出しになっている水道管

◎防寒の仕方

- 保温材を巻く
- ※身近なものとして毛布や布等でも代用できます。毛布等をひもで縛り、濡れないようにビニール袋をかぶせます。メーターボックスの中にも布等を詰め保温してください。

●水抜きをする

※風呂等の蛇口で水を少量ずつ流しておくで凍結しにくくなります。

◎凍結した場合

- 自然に溶けるのを待つ
- 凍った部分にタオル等をかぶせ、ぬるま湯をゆっくりかける

※熱湯はかけないでください。水道管や蛇口が破損するおそれがあります。

◎水道管が破損した場合

メーターボックス内にある止水栓を閉め、水道局または水道局指定給水装置工事業者に連絡してください。



▲メーターボックス(左：メーター 右：止水栓)

〈問い合わせ先〉水道局工務課 (☎ 81・3969)